

第三回 仙台ラウンドテーブル Round-Table

「地域コアとなるシティホールを育む」 市役所

—市民と専門家による仙台市役所本庁舎建替えシンポジウム—

「仙台市役所本庁舎の建替」は今後百年の、市政や市民協働の在り方、まちづくりに大きな影響を及ぼします。この重要なプロジェクトに際し、仙台市と地域の専門家が協働して、市民がみんなで考える場を設けました。

これまでのラウンドテーブルでは、震災復興の過程で再認識した「ゆるやかな合意形成による社会運営を風土とする東北」の中心であるという都市ビジョンが共有され、それを踏まえた私たちの市庁舎は、市民協働の土壌を活かした新しい民主主義・市民社会の象徴であるべきことが、おぼろげながら見えてきました。

「仙台ラウンドテーブル」は、様々な立場からの意見を重ねることにより、議論に厚みを加え、考えの幅を担保し、議論の中心が何処にあるのかを、みんなで共有していくことを目標としています。「仙台ラウンドテーブル」では、次の三つのことを大切にします。

- ①誰にでも広く開かれた場であること。
- ②様々な意見を受け入れ取り入れること。
- ③地域の専門家が中心となって責任ある議論をすること。

「仙台ラウンドテーブル」は、何かを決定する場でもなく、見つけた論理を誰かに押し付けるものでもありません。しかし「広く開かれ厚みを持った議論」は、誰をも納得させる強さを持ちます。ぜひ皆様の貴重なご意見をこのテーブルにお寄せください。

場所：せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア

日時：2019年4月23日（火）11時30分～18時45分

入場無料・登録不要／どなたでも参加できます。

共通テーマ：市民のための本庁舎建替えプロジェクトをみんなで模索する。

A テーブル 「都市ビジョン」の一翼を担う市役所本庁舎とは何かを考える。

〈A1〉 中心部他施設とのネットワークから市役所が担う役割を考える。

〈A2〉 周辺エリアのビジョンの一翼を担う「シティホール」を考える。

B テーブル 「これからの仙台を担う仕組み」を考える。

〈B1〉 市民協働・これからの仙台を担う仕組みから「市役所」を考える。

〈B2〉 低層部の必要機能と運営手法を考える。

C テーブル 「基本計画検討委員会資料」をレビューし、様々な市民目線を網羅する。

〈C1〉 「仙台市役所本庁舎建替基本計画検討委員会」資料をレビューする。

〈C2〉 勾当台エリア・新本庁舎を環境の視点から考える。

誰でも参加できる市民講座
地域の専門家が解説する「市役所建替プロジェクト」
11:30～12:30（60分）

挨拶・主旨説明 13:00～13:10

前回からの報告 13:10～13:15

前半テーブル討議 13:15～15:35（140分）

前半討議 まとめ 15:35～15:50（15分）

休憩

後半テーブル討議 16:05～18:25（140分）

後半討議 まとめ 18:25～18:40（15分）

挨拶 18:40～18:45

主催：

仙台市

問合せ： 財政局理財部本庁舎建替準備室 T: 022-214-3170

（一社）宮城県建築士会

問合せ： T: 022-298-8037

（一社）宮城県建築士事務所協会

問合せ： T: 022-223-7330

（公社）日本建築家協会東北支部宮城地域会

問合せ： T: 022-225-1120

※討議の内容やテーマ、テーブル数は予告なく変更することがあります。

